

Flags

自動認識の世界をより身近に

vol.133 2016
6月号

『薬剤部の先生と作った 使用期限管理システム（後編）』

前号では、国際福祉大学熱海病院の薬剤部の先生方と取り組んでいる「ATAMI プロジェクト」と、プロジェクト内で進めている「使用期限管理システム」の概要を紹介させて頂きました。今号では使用期限管理システムに対する現場のニーズと具体的な機能を紹介させて頂きます。



GS1 Databar→JAN 自動変換
抗菌バーコードスキャナ

1500H

1500Hは、既存システムを 変更する必要がありません。
読み取ったGS1 Databar をJAN コードデータに自動変換してシステムへ送信する抗菌バーコードスキャナーです。

医薬品の取り扱いに関する課題

医薬品を取り扱う薬剤部様では、様々な課題を抱えながら、取扱いのミスが絶対に発生しない様に、常に緊張の中で日々の業務を遂行されております。

人によりプロセスの全てを管理している限り、ポカミス・ヒヤリハットが発生する事は必至であり、何かしらのアイデアを持って、出来るだけ人に依存しない仕組み作りを日々模索されておりました。

課題としては、「医薬品の取り違い」、「使用期限の管理」が一番に挙げられており、処方箋に従って払出す時だけの管理のみならず、院内の各病棟やナースステーションに定置薬としてストックされた医薬品の使用期限に至るまで、院内全体での管理が課題となっていました。

その他にも、“院内物流での温度管理”や“院内に点在する医薬品の棚卸し”、“患者へ確実に払出したエビデンスの確保”など、非常に多くの課題を抱えている現実に驚かされました。

自動認識技術の活用

医薬品のプロフェッショナルの先生方と、自動認識技術のプロフェッショナルであるメーカー各社で協議を繰り返し、まずは使用期限管理に関する課題を解決のターゲットとする事になりました。

課題としては、次の5点が挙げられ、当社を中心に現場実証実験用に「使用

期限管理システム」の開発が開始されました。

1. 払い出し監査時の使用期限チェックの効率化と履歴の確保
2. 払い出し先毎の定数配置薬の在庫の把握
3. 払い出し先毎の使用期限が間近となる医薬品の検索
4. 取り扱い医薬品情報の入力負担の軽減
5. 定数配置薬の棚卸し

使用期限管理システムの主な機能

使用期限管理システムの主な機能は表1の通りとなります。

特長としては、MEDIS 医薬品データベースと連携する事により、システムで使用する医薬品の登録やメンテナンスの作業が、劇的に省力化されます。

また、新バーコード表示の対応は勿論、可変情報が含まれるGS1 合成シンボルにも対応しており、GS1 合成シンボルが使用できると、バーコードを読み取るだけで、使用期限日付まで自動で登録が可能となります。

また、OCR(文字認識)対応の2次元コードスキャナの採用で、使用期限を手入力しなくても、システム登録作業が完了するため、現場作業者の大幅な負担軽減が考慮されています。

「メディカルシステム」への発展

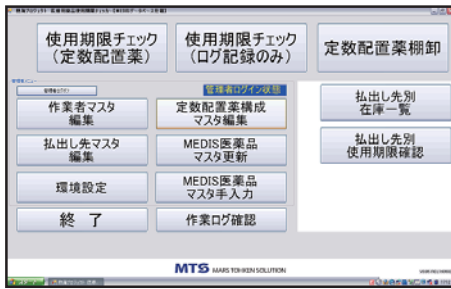
現在、当システムは実際の院内にて現場検証の段階に入っております。

今後は、様々な医療機関にお声掛けさせて頂いて、幅広くメディカルシステムのご意見を頂戴し、パッケージ化の検討に入りたいと考えております。

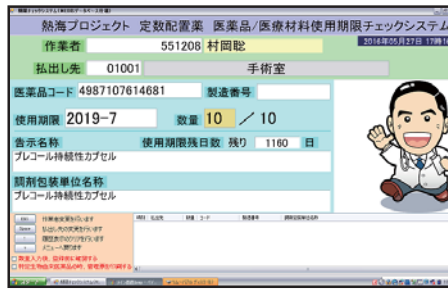
ご興味ある医療機関様、医薬品管理者様がおられましたら、実機でのデモンストラーションにて、詳細をご説明させて頂きますので、是非、当社営業担当までお気軽にお声掛けください。

<表1.使用期限管理システムの主な機能>

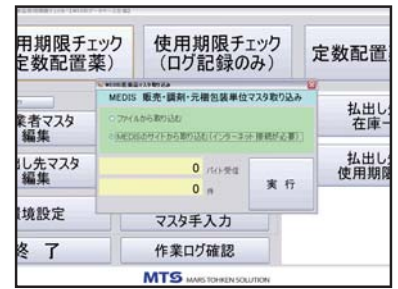
1. 払い出し監査で使用する使用期限チェック機能
2. MEDIS医薬品データベースのオンライン連携機能
3. 払い出し先別の在庫確認機能
4. 払い出し先別の使用期限確認機能
5. 定数配置薬棚卸し機能
6. 使用期限日付のOCR機能
7. GS1合成シンボルの対応
8. 各種マスタ登録、編集機能



＜使用期限管理システムのメイン画面＞



＜抽出し医薬品の使用期限チェック画面＞



＜MEDIS 医薬品データベース取り込み画面＞

めざせ、自動認識基本技術者! <http://www.jaisa.jp/license.php>

Lesson 2:

バーコードは大きく、“一次元シンボル”、“二次元シンボル”、“マルチローシンボル”の3種類に分類される。今号は“一次元シンボル”を解説します。一次元シンボルは何種類あるかご存知ですか？

過去には数十もの種類が存在しましたが、国際標準となっているのは6種類のバーコードです。

「JAN」は、商品コードとして流通では欠かせないシンボルで、日本では「JAN」、ヨーロッパでは「EAN」、アメリカでは「UPC」と同じ商品コードでも

呼び方が違いますが、シンボル自体は同じ物を指しています。「CODE39」は、英字と一部の記号が表現できるので、産業系で多く使用されました。

「ITF」は、物流コードとも呼ばれており、缶ビールをケースで買うと大きく印字されているバーコードがITFです。バーコードの幅が非常に小さくなるのが特徴になっています。

「NW-7」は、特配便の送り状No.バーコードで採用されており、印字精度が悪くても読み取りやすい仕様となっているのが特徴です。

「CODE128」は、キーボードで入力できる全ての文字を表現する事が可能です。数字だけの

種類	シンボル	文字の種類
JAN (EAN)		数字 (0~9) のみ
CODE39		数字 (0~9) 記号 (-,スペース, \$, /, +, %, .) アルファベット (A~Z) スタート, ストップコード (*)
ITF		数字 (0~9) のみ
NW-7		数字 (0~9) 記号 (-, \$, :, /, +, .) スタート, ストップ, コード (A~D)
CODE128		数字 (0~9) 記号 アルファベット (フルASC・128文字)

バーコードであれば一番小さく印刷できるのも特徴です。

最後の一つは、国内では医薬品関連で急速に利用が進んでいる、“GS1 データバー”の登場です。「GS1 データバー」は、JAN の印字スペースが確保できない小さな商品などに商品バーコードを印字したいと言う要望から開発されたコードです。医薬品など小物でも採用でき、厚労省の通達もあり、現在では殆どの医療用医薬品にはGS1 データバーが印字されています。

展示会出展のお知らせ

国際モダンホスピタルショー2016
INTERNATIONAL MODERN HOSPITAL SHOW 2016

7月13日(水)▶14日(木)▶15日(金)

国際モダンホスピタルショーは、病院をはじめ、保健・医療・福祉分野における質の向上、充実に役立つ機器、製品、システム、サービスなどを幅広く展示し、最新情報の発信および情報交流の場を提供することにより、健康福祉社会の発展に寄与することを目的に、毎年7月に開催され、今年で43回目を迎えます。

今年の開催テーマは、「健康・医療・福祉の新時代へ〜連携と地域包括ケアの充実を目指して〜」と題して、約350社の出展者を集め、7月13日からの3日間、東京ビッグサイト東展示棟で開催予定です。当社も、関連製品の出展や各種ソリューションのご案内を予定しております。



ご招待券のお問合せは営業担当まで

次号予告

2016年7月号は・・・

『モダンホスピタルショー
開催レポート』
についてです。

Flags 7月号は 7月 8日発行です。

都合により内容が変更になる場合がありますので、予めご了承下さい。
バックナンバーは弊社ホームページに掲載しております。

Flags / フラッグス

2016年6月号 Vol.133 2016年6月8日発行

編集・発行 株式会社マーストケンソリューション

編集事務局:03(3352)8545

本誌に掲載の記事・写真・図版などは著作権法によって保護されており、無断で転用・転載・複製することはできません。

本社	東京都新宿区新宿1-8-5	新宿御苑町ビル
	Tel: 03 (3352) 8522	Fax: 03 (3352) 8579
日立営業所	Tel: 029 (276) 9555	Fax: 029 (276) 9556
名古屋営業所	Tel: 052 (565) 9091	Fax: 052 (565) 9094
大阪営業所	Tel: 06 (6353) 5476	Fax: 06 (6353) 6125
福岡営業所	Tel: 092 (441) 3638	Fax: 092 (441) 3639

MTS 株式会社マーストケンソリューション

<http://www.mars-tohken.co.jp>